

編集後記

1978年も最後を飾る12号をお届けする季節となっていました。今年は異常な猛暑とそれに続く水不足と、夏以後は大変御苦労なさっている地方もあると聞きます。仙台地方も地震の後には……、有珠山噴火の洞爺湖附近の人々は……、等と考えると、平凡ながらも一年を大過なく過せた人達の心配りが大切なのだなと感ぜずにはおれません。

リハビリテーションは、各専門分野毎に独自の広がりや深さがあり、専門家以外には理解し難い面があるのも事実です。しかし、お互いの専門性を尊重しつつも、他の分野を理解していこうという姿勢がなくては、総合的なリハビリテーションは生れて来ないでしょう。ましてや、生半可な知識で他の分野を理解できる訳ではありません。このような観点から、今回の身障者雇用の特集は、職業分野以外の人達にもきっとお役に立てると思います。

各々の論文は、執筆者の学識と体験に加えて、この問題に関する概説的な展望を与えて頂けるような気がします。

この「総合リハビリテーション」の読者の多くは、医療関係者だと聞きます。障害者の雇用を願わない人はいないはずですが、この機会に身障者雇用の専門家の意見をお聞きし、お互いにこの問題について語り合ってもらえれば幸いです。

この号では、その他に講座「筋・神経系の電気診断」が12回目を迎えました。毎号充実した内容で誌面を飾って頂いた諸先生に厚くお礼申し上げます。二木氏の統計もこれで5回目となります。統計とは、数字を読むことでなく、数字の裏側の心を読むことだと教えられたことがあります。二木氏の労を心から感謝したい。安藤氏、上田氏の論文も大変ユニークなものであり、今後も力作の投稿をお願いしたい。

第7巻を迎える来年ですが、さらにより良いものにしたいと思います。編集部から皆様の御支援を謝すと共に、良い年をお迎え下さい。

(大川 嗣雄)

次号予告(第7巻第1号)

特集 リハビリテーションニード

日常生活動作自立度と職業リハビリテーション

(重度脳性麻痺者)……………太陽の家 畑 田 和 男

福祉関連機器の開発と展望(工学の側から)

……………労災義肢センター 土 屋 和 夫

福祉関連機器の開発と展望(医学の側から)……………都補装具研 加倉井 周 一

神奈川県における地域リハビリテーション

(現況と施設のニーズ)……………神奈川リハセンター 佐 藤 育 徳

リハビリテーションと医療報酬……………厚生団 大 村 潤四郎

アンケート/現在の日本のリハビリテーション

において欠けているものは何か?……………自治医大 大 井 淑 雄・他

講座 リハビリテーション医のための循環器入門(1)

(うっ血性心不全)……………埼玉医大 土 肥 豊

リハビリテーションにおける治療(1)

(筋力増強訓練)……………川崎医大 明 石 謙

一頁講座 リハビリテーション用語集(7)……………神奈川リハセンター 宮 崎 一 興

編集顧問

天 児 民 和

大 島 良 雄

小 池 文 英

砂 原 茂 一

津 山 直 一

水 野 祥 太 郎

編集委員

明 石 謙

上 田 敏

大 井 淑 雄

大 川 嗣 雄

荻 島 秀 男

土 屋 弘 吉

横 山 巖

千 野 直 一

編集同人

赤 津 隆

今 田 拓

今 村 哲 夫

江 口 寿 栄 夫

小 野 啓 郎

河 邨 文 一 郎

五 味 重 春

沢 村 誠 志

杉 山 尚

武 智 秀 夫

永 井 昌 夫

中 村 隆 一

野 島 元 雄

間 得 之

長 谷 川 恒 雄

橋 倉 一 裕

平 方 義 信

福 井 罔 彦

三 島 博 信

渡 辺 英 夫

飯 田 卯 之 吉

遠 藤 千 恵 子

小 川 孟

加 藤 一 郎

小 島 蓉 子

笹 沼 澄 子

鈴 木 明 子

高 田 玲 子

陳 慧 玉

土 屋 和 夫

松 村 秩

(以上五十音順、敬称略)

(細田、鹿島)